

ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第126号

古牧だより通算219号

新しい生活様式を意識した活動へ

古牧地区住民自治協議会 会長 小林 信 男

新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が出され、令和2年度のスタートである住民自治協議会の総会が今までに例のない書面による開催となりました。その後、活動を自粛しておりましたが、ようやく緊急事態宣言が解除され、6月から住民自治協議会の活動が徐々に始まってきております。

このような社会状況の中で、住民自治協議会の活動を行っていくうえでは、感染防止を意識した「新しい生活様式」での活動が求められており、今後の各部の活動内容等を検討した結果、当初予定しておりました各種事業のうち、子どもたちや高齢の皆さんが参加する事業などを中心に一部事業を中止にすることとしました。

また、地域の皆さんが大勢参加する研修会や集会などは、3密に留意していかなければ



人と人の距離を確保した会議 (総務部会)

なりません。日頃利用している古牧公民館会議室の大きさを考えると、参加者の人数を大幅に制限しなければならない状況です。

コロナウイルス禍の中、住民自治協議会としては「新しい生活様式」を意識しつつ、皆さんのご期待に応える活動を進めていく必要があると考えております。

古牧地区にお住まいの皆さんにおかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の大変

な時期ではありますが健康に充分にお気をつけください。

住民自治協議会では活動を通じて「安全・安心・住み良い街古牧」を目標に思いやりとふれあいのある地域づくりを目指し、各区の連携を強化して地域の一層の活性化を図ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

◆主な中止事業 (皆さんが参加する事業)

事業名	実施予定時期	主催する部
地域福祉大会	5月	福祉健康部
世代交流グランドゴルフ大会	6月	福祉健康部
世代交流マレットゴルフ大会	7月	福祉健康部
中学生球技大会	7月	青少年育成部
防火・防犯・交通安全ポスター募集事業	8月	防犯部・交通安全部
公民館対抗球技大会	8月	公民館部
ふるさとふれあい教室	10月	青少年育成部・公民館部

東日本台風災害をとおして見えてきた地域の力

～地域の実践力～

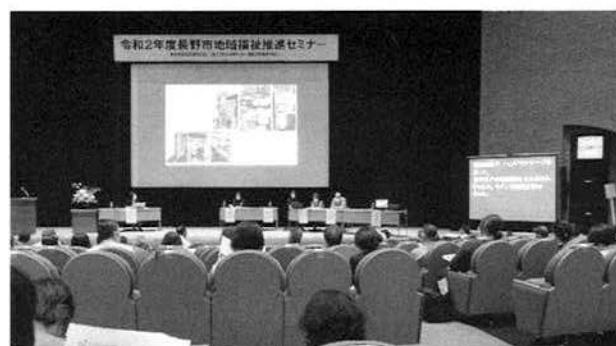
ONE TEAM NAGANO

昨年10月に大規模な豪雨災害をもたらした台風19号、まだ復旧・復興の道半ばです。若里市民文化ホールで6月19日（金）、長野市社会福祉協議会（市社協）主催の「東日本台風災害をとおして見えてきた地域の力」をテーマにセミナーが開かれました。

それぞれの立場の4名が体験にもとづいて発表しました。避難・避難生活、ボランティア活動、復旧・復興などに、地域の力・地域コミュニティを生かす大切さが浮かび上がりました。

長沼地区の民生委員は「6時間後に避難指示がだされる。要支援者に連絡を」との指示を受けてから、30世帯に場所と持ち物を連絡するのに2時間もかかったと紹介。①日ごろの備え②早めの行動③ラジオの情報——が迅速な避難にとって重要と強調しました。また①要支援者への連絡網が機能するかの確認②要支援者だが諸事情でそこに数えられていない方への対応——などを課題にあげました。

豊野地区は、避難所には物資がくるが自宅避難者には「物が無い」という訴えに応える取り組みの発表でした。支援物資の受け入れ・配給をする豊野サテライトの開設から、地域住民の憩いの場ともなる「ぬくぬく亭」へ発展させたといいます。さらに防災マップ



を地元情報豊富なものへと3年毎に改善・見直すとしてしました。

松代地区も対策本部の設置、活動状況、地域内の協働体制から町外の災害支援団体との連携へつなげていると報告しました。

最後に被災地域と密接な指導・支援を行った市社協より全体の活動を報告。災害ボランティア支援で見えてきた「地域力」「住民力」「受援力」「コーディネーション力」と、生活支援・地域ささえあいセンターの開設などについて語られました。

会場への入場の際、検温・手指消毒、座席制限などの新型コロナウイルス対策がとられ、セミナーに先立ち篠ノ井信州なでしこ隊・寺子屋ダンディの、台風接近から河川氾濫、ボランティア活動までを描いた「朗読劇」が披露されました。

（福祉健康部）

無事故を願って 白線引き

6月7日（日）、車があまり通らない早朝、川端区では区の協議員・育成会・交通安全協会の皆さん方が参加し、いくつかのグループに分かれ白線引きをしました。

この作業は毎年この時期に行われているもので、既に白線が引かれている場所で、白線などが薄くなっている箇所を中心に白ペンキ

を道路に塗布しました。

特に、子どもたちが道路に飛び出しそうな交差点などは念入りに白線を引きました。

皆さんが、交差点などでこの白線を意識して交通事故に遭わないことを願うばかりです。

（川端区交通安全部）





今年度も交通安全街頭啓発活動がスタート!!

交通安全部はコロナウイルスの緊急事態宣言が解除された6月3日(水)、朝の通勤時間帯に西尾張部交差点で人と人の距離を確保しながら交通安全街頭啓発をしました。古牧地区内で多発する交通事故をなくそうと、毎月第1水曜日に活動しています。

毎回、三陽中学校の生徒さんたちも登校前に参加。交通安全活動の一翼を担っています。

また、この古牧地区の粘り強い活動が認め

られ、長野市で毎月第1水曜日を“交通安全マナーアップデー”と定め、市内各地で交通安全の取り組みが行われています。

古牧地区は、長野市の主要幹線が何本も通っており、朝夕を中心に地域の生活道路への車の侵入も激しくなっています。皆さんには車の往来等に十分に注意していただき、交通事故に遭うことのないようお願いします。

(交通安全部)

歴史探索

ぐるりおがまち

荒屋区

美和神社

古牧郷土史研究会 西澤 征防

長野市大字三輪相ノ木東514番地に鎮座する心のふるさと「美和神社」御祭神は大物主命です。

特徴的な三ッ鳥居が立ち、年8回の祭事を



傾いた大鳥居を新しく建立

三輪7ヶ町の氏子総代によって行われます。

当番制で大当番として1年間の祭事を執り行います。7ヶ町とは私たちの荒屋町のほか、本郷町・相ノ木東町・相ノ木西町・横山町・淀ヶ橋町・三輪田町です。

境内には100近い石祠群(境内百末社)が立ち並んでおり、この百末社に祝膳を捧げる越年祭は特殊神事です。

美和神社の神事は年8回行われます。

元旦祭	(1月1日)
節分追儺祭	(2月3日)
春季大祭	(4月27日)
風祭	(9月1日)

次頁へつづく

前頁のつづき

秋季大祭 (9月26日・27日)
 新嘗祭 (11月27日)
 越年祭 (12月16日)

境内の石祠に祀られている全国一宮の神々に対して祝膳が捧げられる特殊神事。

2月3日の節分追儺祭、令和2年の今年は雪もなく天候に恵まれ境内は地面も乾いており大勢の人達が訪れました。



2月3日節分追儺祭

いつもキレイな花をありがとう 更生保護女性会 プランターに苗



古牧地区
更生保護女性会の皆さんには毎年春と秋の2回、古牧公民館前のプランターに花の苗を植

えていただいております。今年も6月2日(火)にベゴニア、マリーゴールドの苗を70

苗プランターに植えていただきました。

更生保護女性会の皆さんは、地域の犯罪予防や子育て支援への協力を始めとして、少年鑑別所などの矯正施設での慰問や支援などを行っています。平成30年2月には、永年の活動などの功績が認められ、長野少年鑑別所長から感謝状が贈られました。

公民館を訪れる皆さんには色とりどりの花をご覧いただき、心が少しでも和んでいただければ幸いです。

(事務局)

7月から8月までの主な行事实施日のお知らせ

(多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	場所	実施内容	主催
夏季防犯夜間パトロール	8月	各区	夜間防犯パトロール	防犯部
防犯車両による地域パトロール活動	通年	古牧地区	小・中学校通学路青色灯パトロール	防犯部



古牧地区の世帯数と人口

令和2年6月1日現在

11,657 世帯

26,810 人

(男 13,227人 女 13,583人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp)
- 発行者 小林 信男
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷